

令和8年度 七尾市立東湊小学校 学校だより 令和8年4月10日



東湊っ子 No.1

TEL : 52-3149 FAX : 52-1200

E-mail : minatosho@edu.city.nanao.ishikawa.jp 文責：基村

ご入学・ご進級おめでとうございます

春のあたたかな風に包まれ、20名の新1年生を迎えて、東湊小学校の令和8年度が始まりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動を支えていただき、心よりお礼申し上げます。

本校は、豊かな自然と地域の皆様の温かなまなざしに育まれ、子どもたちが安心して過ごせる環境に恵まれています。落ち着いた雰囲気の中で、学年や男女関係なく仲よく過ごす子どもたちの姿は、本校の大きな特長の一つです。今年度も、このよさを大切にしながら、子どもたちがさらに伸びていける学校を目指してまいります。

今年度の学校教育目標は、昨年度に引き続き「主体的に課題を解決しようとする児童の育成 ～自ら考え自ら動く東湊っ子～」（2年目）としました。自分で考え、行動しようとする力は、子どもたちの未来を大きく支えるものです。やりたいことに挑戦し、失敗してもまた立ち上げられるよう、教職員一同で丁寧を支えていきたいと思っています。

また、「令和6年能登半島地震」から丸2年。関係各所の皆様のご尽力により地域の復興が進められております。本校におきましても昨年度、校舎・体育館・グラウンドの大規模な復旧工事をしていただきました。ただ、復興はまだ道半ばでもあります。子どもたちには地域の歴史や文化を学びながら、「自分たちの地域をよりよくしたい」という気持ちをぜひ育ててほしいと願っています。子どもたちが地域の一員として誇りをもち、思いやりの心を育ていけるよう寄り添っていきたく存じます。

学校と家庭がしっかりとつながることは、子どもたちの成長にとってとても大切です。今年度も、保護者の皆様と気持ちをひとつにし、安心して通える学校づくりを進めてまいります。どうぞお気軽に学校へお声をお寄せください。

子どもたちが素直で明るく、そして互いを思いやりながら、毎日を笑顔で過ごせる一年となるよう、力を尽くしてまいります。本年度もどうぞよろしくお願いいたします。



東 湊 小 学 校 EDUCATIONAL GOALS

東湊っ子のすがた

～『自ら考え、自ら動く東湊っ子』～

令和8年度 学校教育目標

主体的に課題を解決しようとする
児童の育成

今年度の重点

- 【重点①】安全安心な学校
- 【重点②】学びの充実
- 【重点③】働き方改革とチーム学校力

めざす児童像

- ◇<自ら考える児童> 課題解決に向け、主体的に考えて努力する児童
- ◇<自ら動く児童> 自分たちの学校や学級をよりよくしていこうと工夫し、行動する児童

めざす教師像

- ◇指導者としての言動に責任をもち、保護者や地域の信頼に応える教師
- ◇自らの指導法を見つめ直し、授業力の向上をめざして、努力し続ける教師
- ◇児童の情報共有を密にしながら、一人一人の児童に寄り添う教師

子どもたちのために、東湊小学校が実践する17の取組

1
「あいさつ」「正しい言葉遣い」「安全な行動」の励行

2
自他を大切に
する人権教育の
推進

3
各種アンケート
や児童理解会議
によるいじめの
早期発見、早期
対応

4
定期的な心と体
のアンケートと
SCの活用

5
危機管理マニ
ュアルの見直しと
危機管理意識の
向上

6
防災教育・安全
教育の推進

7
「個別最適な学
び」と「協働的な
学び」の実現

8
授業における自
己選択、自己決定
の場づくり

9
帯タイム等での
前学年の学び直
しを含めた基礎
学力の定着

10
一人一台端末を
効果的に活用し
た授業づくり

11
ふるさと七尾S
D G s教育の推
進～創造的復興
の視点～

12
探求的な学習の
一層の充実

13
「GIGA校内
研修」や「若プロ」
における短時間
で効果的な「ミニ
研修」の実施

14
職員が専門性を伸
ばしながら、お互
いをカバーし合
える職場づくり

15
職員が役割と責
任を自覚し、職責
を完遂できる校
務運営

16
機能的かつ短時
間で効率的な会
議の運営

17
家庭・地域との連
携と外部人材の
積極的活用



朝の校門で

朝、校門に立って子どもたちを迎えていると、まだ少し眠たそうな顔の子も、元気いっばいに走ってくる子も、みんなそれぞれの声で「おはようございます」とあいさつを返してくれます。短い言葉ですが、その一声が一日の始まりを明るくしてくれるのを、毎朝のように感じています。

また、子どもたちは時期を定めて、たてわり班ごとに「あいさつ運動」を行っています。登校してくる友達に向かって、少し照れながらも大きな声で「おはよう」と呼びかける姿は、見ているこちらまでうれしくなります。最初は小さな声だった子が、回数を重ねるうちに自信をもって声を出せるようになることもあり、子どもたちの成長を感じる瞬間でもあります。

本校の子どもたちは、来校されたお客様に対しても、ろう下ですれ違うときにしっかりとあいさつができます。「こんにちは」と自然に声をかける姿に、訪れた方から「とても気持ちのよい学校ですね」と言ってもらえることも少なくありません。これは、日頃からご家庭でも丁寧な声かけをしていただいているおかげだと感じています。

「あいさつは、心の扉を開く鍵である」は、ドイツの詩人ゲーテが残した言葉です。たった一言でも、相手を大切に思う気持ちがそこには込められています。あいさつは、相手との距離を縮め、安心感を生み、そして「ここにいていいんだ」という居場所の感覚をつくり出します。子どもたちにとって、学校がそんな場所であることはとても大切なことと日々思っております。

あいさつは強制されてするものではありません。しかしながら、毎日の積み重ねが習慣となり、習慣がやがてその子の「生き方」に繋がっていきます。自分から声をかけ、男女関係なく仲がよいという本校の姿は、子どもたちが互いを尊重し、温かい関係を築こうとしている証でもあります。それが将来、よき社会人としての生きていく素地となっていくことを願ってやみません。

これからも学校として、あいさつを大切に作る雰囲気育てていきたいと思ひます。そして、ぜひご家庭でも、朝の「おはよう」、帰宅時の「おかえり」、寝る前の「おやすみ」など、日々のあいさつを大切にしていただけたらうれしく思ひます。大人が交わすあいさつは、子どもたちにとって何よりのお手本です。

子どもたちの明るい声が響く学校であり続けられるよう、これからも皆さまと一緒に、あたたかな「あいさつの輪」を広げていきたいと思ひます。



令和8年度 職員紹介

学 年	担 任	児童数
1年1組	大根 あゆみ	18
2年1組	澤野 由香里	20
3年1組	駒井 李帆	23
4年1組	伊藤 真奈美	20
5年1組	吉川 佑茉	27
6年1組	三宅 智久	26
わかくさ	山本 祐一	3
あおぞら	池島 綾香	7
合 計		144

新しいメンバーが入り、令和8年度がスタートしました。今年度も保護者の方々のご協力のもと、全教職員が力を合わせて教育活動に携わっていきます。今年度もよろしくお願いいたします。

☆☆☆ 新任の教職員の紹介 ☆☆☆

澤野由香里（七尾市立朝日小学校より）
 松中 貴裕（穴水町立向洋小学校より）
 駒井 李帆（新規採用教諭）
 森 正人（七尾市立天神山小学校より）
 種谷 多聞（七尾市立和倉小学校等と兼務）
 多中 亜矢（新規採用学校図書館司書）

校 長	基村 俊成	支 援 員	澤多 久美子
教 頭	中村 教子	支 援 員	茅田 優子
級 外	松中 貴裕	学校図書館司書	多中 亜矢
級 外	末森 慈依	スクールサポートスタッフ	青木 優子
通級(にじいろ)	森 正人	配 膳 員	畑中 彩加
養護教諭	荒栄 穂波	A L T	ケゼィア
事務職員	堀下 晴菜	スクールカウンセラー	池田 弘子
校 務 員	溝口 衛	拠点校指導教員	種谷 多聞

登校時交通安全指導 ありがとうございました

保護者の皆様、地域の皆様には、本年度も新年度がスタートした4月7日より、通学路各所にて、交通安全指導にご参加いただきました。

通勤前や朝のあわただしい中、時間調整の上ご参加いただき、誠にありがとうございます。またPTA役員の皆様や地域の皆様には、年間を通しての安全指導等、本当にありがとうございます。

子どもたちは、たくさんの保護者や地域の方に見守られている中、通学路での安心と地域のあたたかさを実感しているものと思います。

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

Let's call.

～親と子のなんでも電話相談室～

オアシスライン

対象：小中学生及び保護者（匿名の電話で構いません。秘密は守ります）



電話 (0767)52-0783

受付 13:00～16:00

（月曜～金曜）